



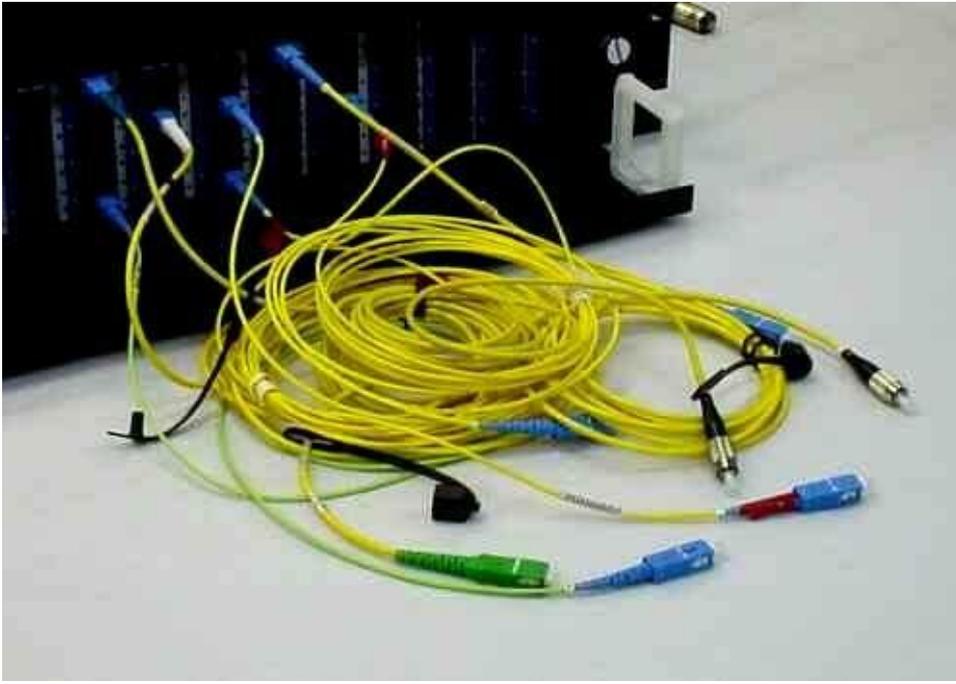
ペン型 LD 可視光源  
ファイバチェッカー  
使用例

## 目次

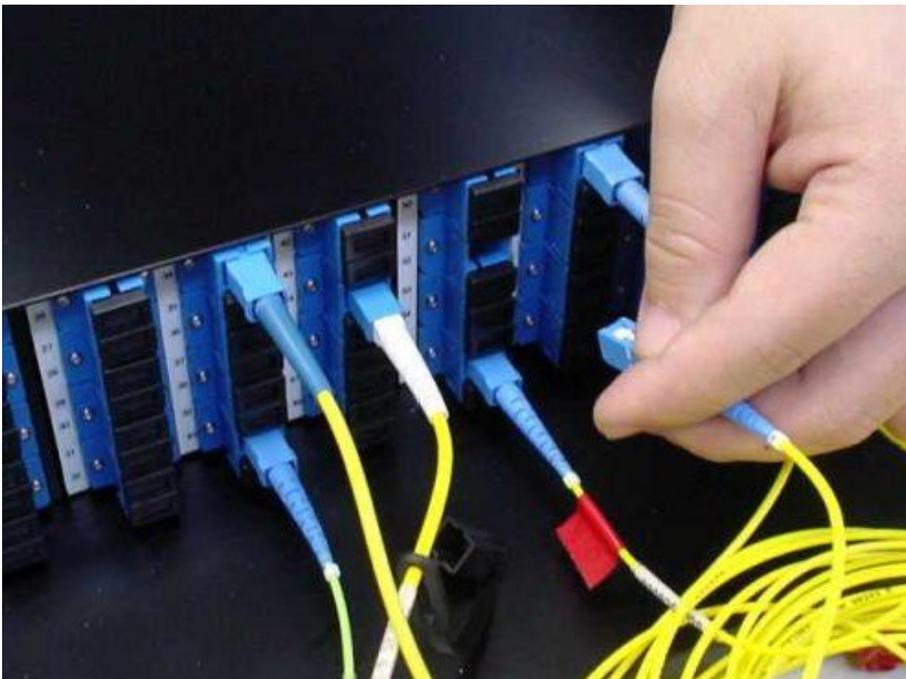
使い方 1.....	3
使い方 2.....	5
使い方 3.....	6
使い方 4.....	8

## 使い方 1

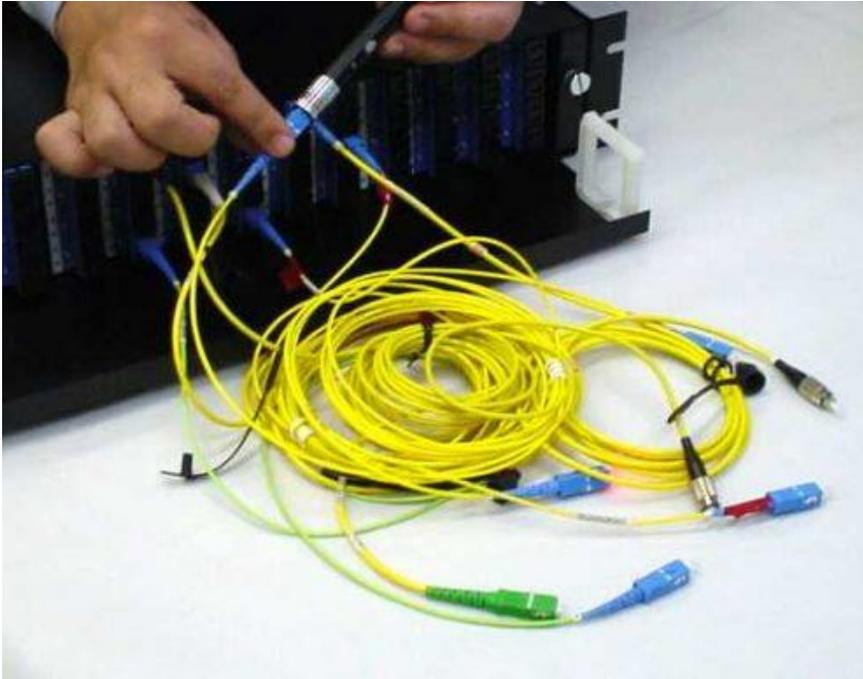
1. ファイバが絡んでいる現場に直面!! どれとどれが対象なのかわからない。



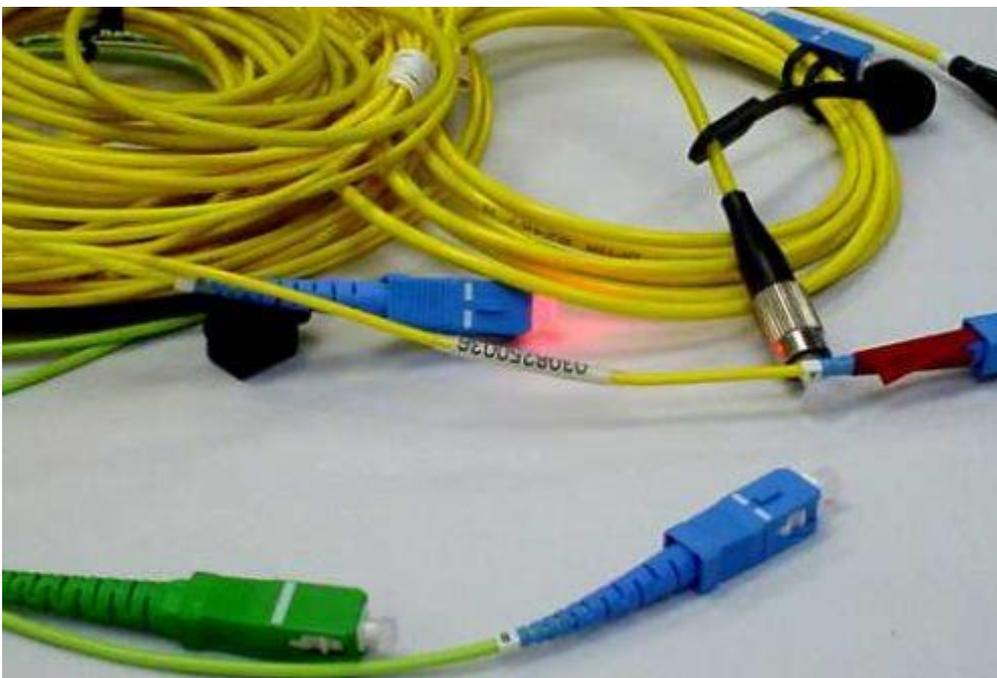
2. 「このファイバのもう片端はどれだ？」



3. 選別したいファイバに可視光源（ファイバチェッカー）を差し込んでスイッチオン!!  
すると、繋がっているファイバーの先端が赤く光ります。

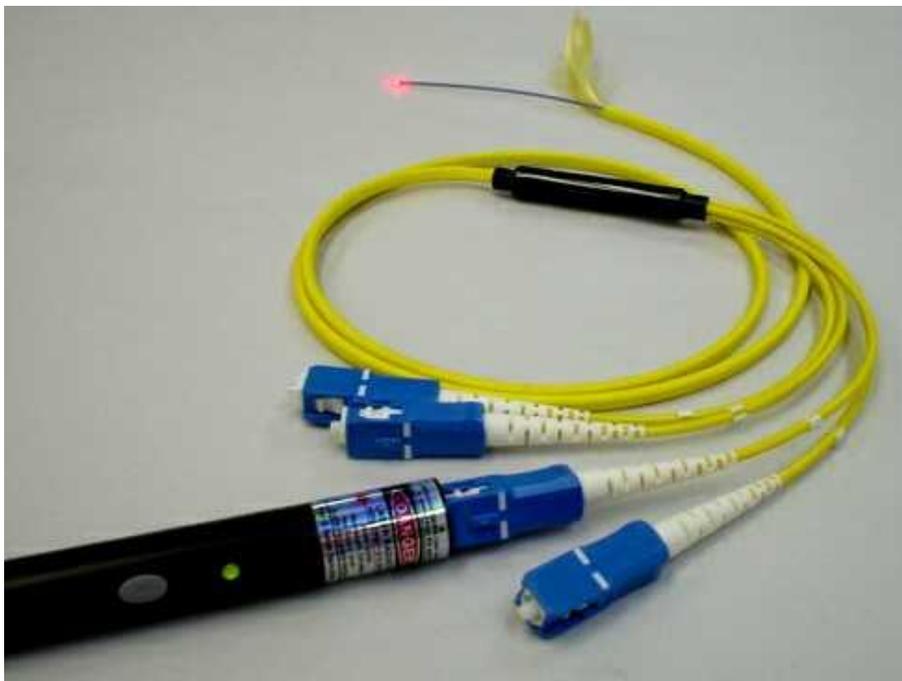


4. 「これだ!」一発で対象を探し当てる事が出来ます。

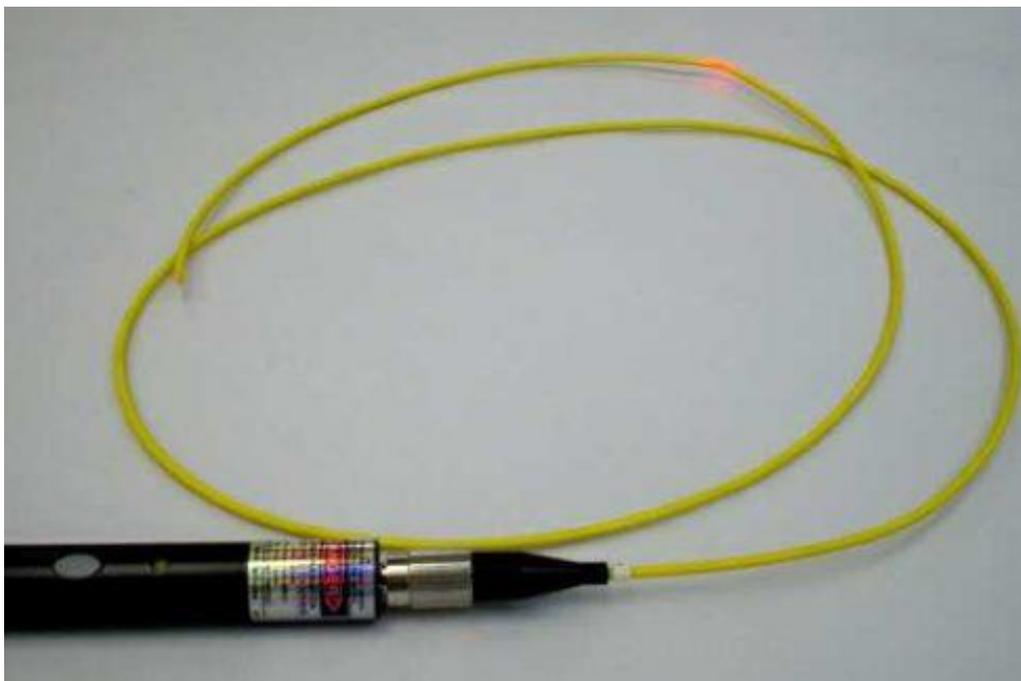


## 使い方 2

例1. FOコードテープの心線の切断部分で光ります。

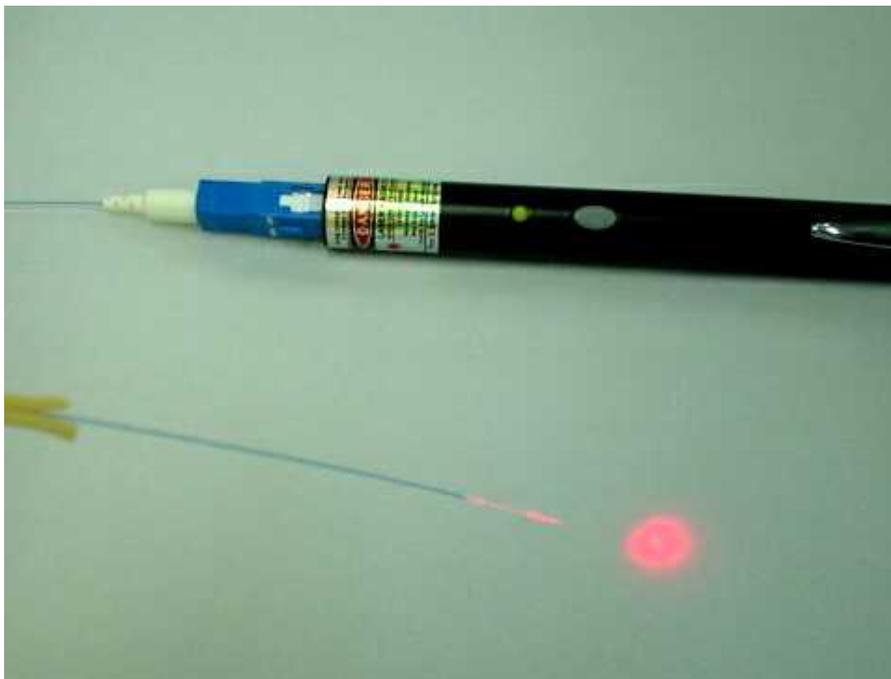


例2. ファイバ途中の断線箇所が光ります。

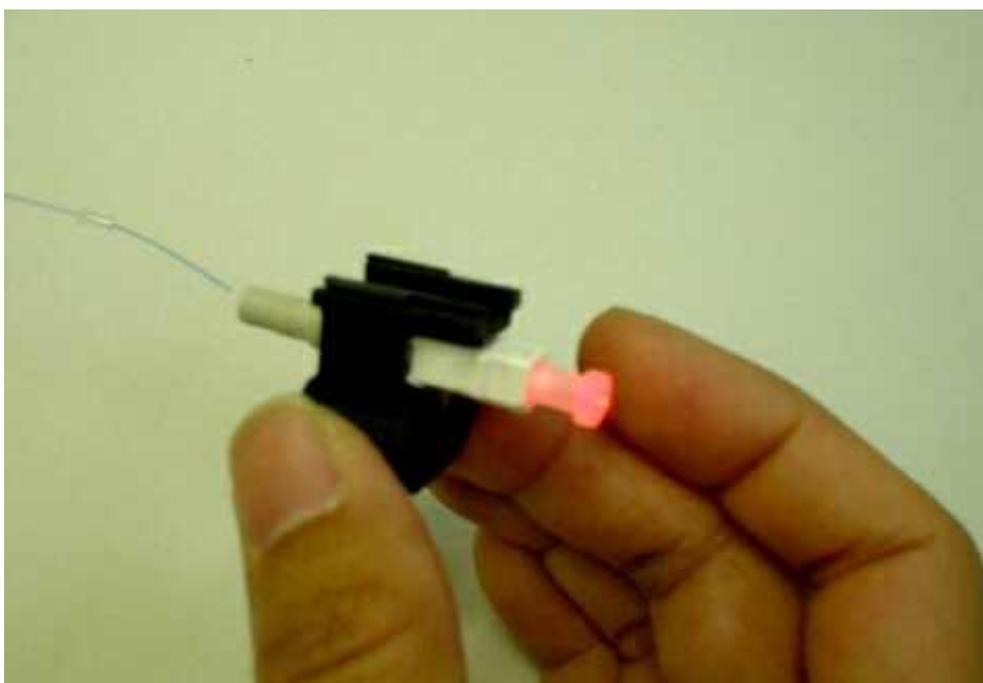


### 使い方 3

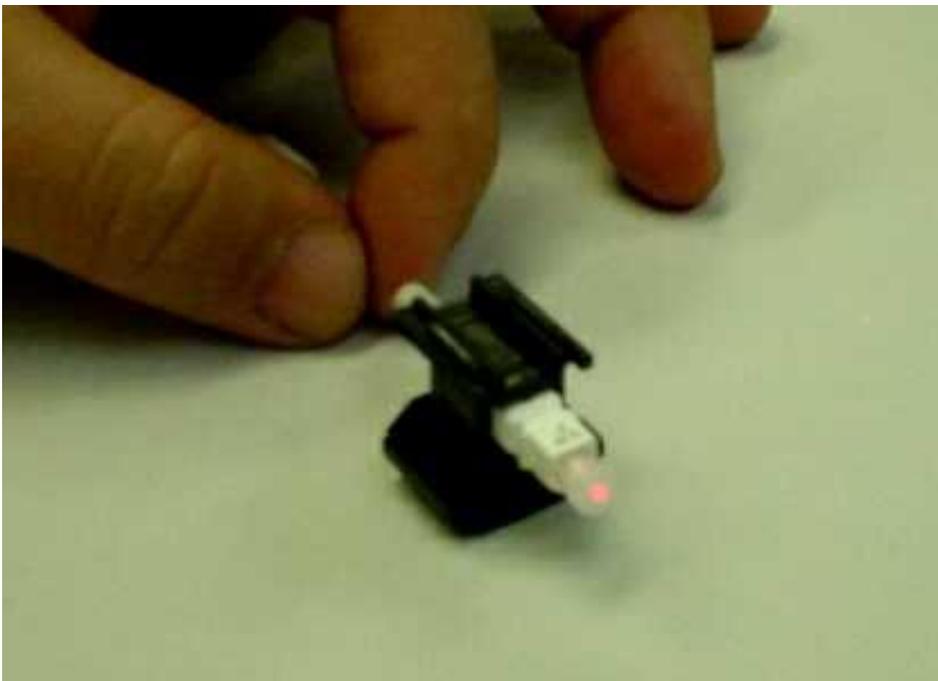
1. 接続するファイバの反対側から可視光源を差し込みます。



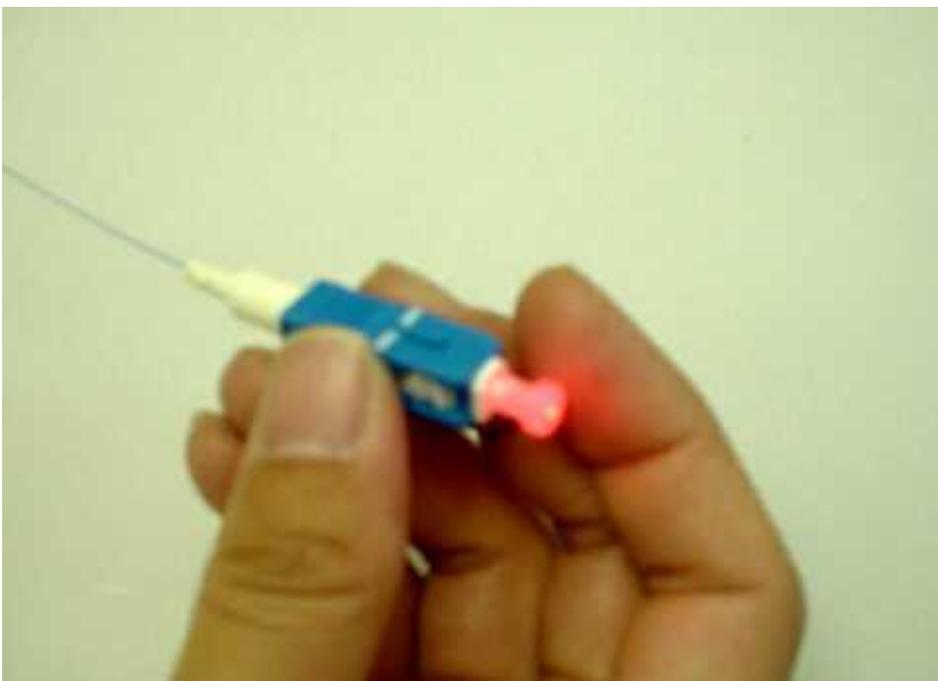
2. 状態が良い時



3. 状態が悪い時

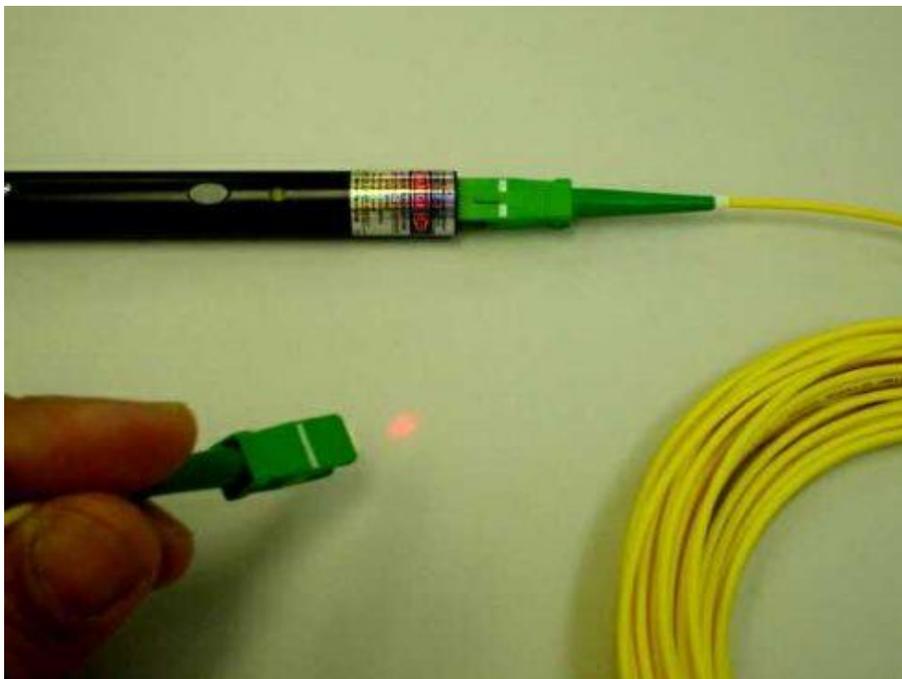


4. 接続状態が良いと、眩しく光ります。

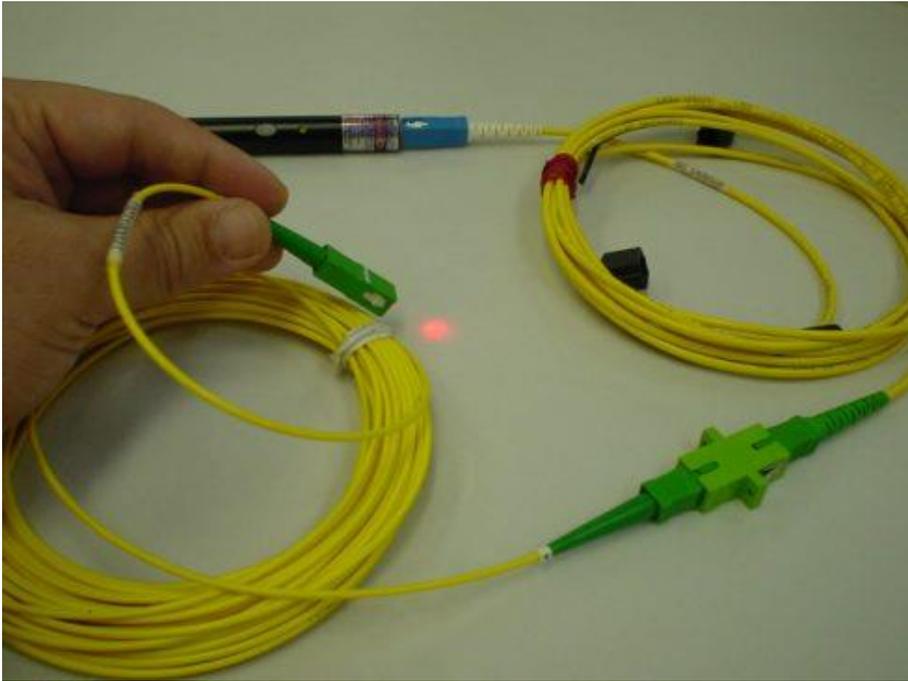


## 使い方 4

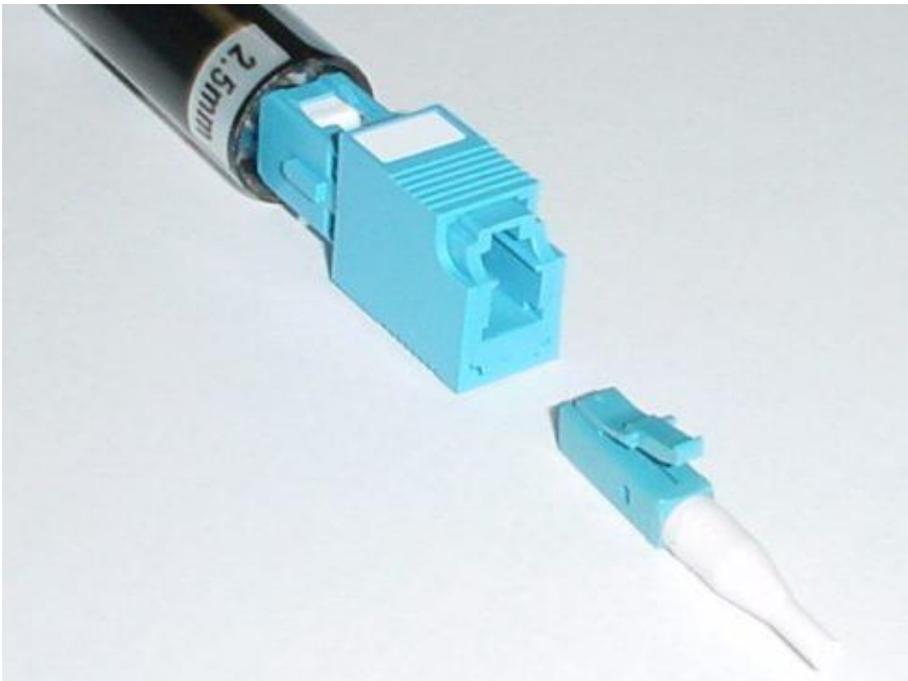
1. SC/APC を直接差し込んでも使えますが・・・



2. SC/SPC-SC/APC 変換コードを中継したほうが眩しく光ります。  
何故かというところ・・・  
本体の SC インターフェースは PC 研磨に結合するよう設計されている為です。  
従って APC 研磨の直接接合よりも透過パワーが強いのです。



3. LC コネクタ対応！上図のように LC コネクタを簡単に接続出来ます。



4. MU コネクタ対応！上図のように MU コネクタを簡単に接続出来ます。

